

平成28年度山梨県南都留地域教育フォーラム提案書

第3分科会

山中湖村立山中湖中学校

校長 三橋 毅頭

## 『山中湖中学校から地域へ』

～有用感・所属感を高める地域活動～

### 本校の概要

本校は、昭和26年(1951年)に「山中中学校」と「中野東中学校」の二校が統合し「中野中学校」として開校しました。その後、昭和40年(1965年)には合併特例法の施行に伴い校名を「山中湖中学校」と改め、山中湖村唯一の中学校として、今日まで64年間の歩みを続けている学校です。

全校生徒133人の小規模校ではありますが、雄大な富士山と青く輝く神秘的な山中湖とに抱かれたすばらしい自然環境の中、生徒は日々躍動的な学校生活を送っています。

学校創立以来の伝統である校訓『和協・勤労・奉仕・勉学』を本校教育の柱とし、本年度も、知識と体験とが連動したバランスある教育活動の展開をめざし、長い歴史と伝統を継承しつつ、社会の変動に対応した新しい山中湖中学校づくりを進めています。



## 1 はじめに

本校は、山中湖村内唯一の中学校です。そのため、地域との結びつきが強く、いわゆる「顔の見える関係」があり、「どの子ども村の子」という意識があります。また、地域から寄せられる期待も大きいものがあり、「将来山中湖を背負って行って欲しい」という地域の思いは、様々な場面で生徒達に語られます。

それぞれの取り組みには、学校の教育活動としてのねらいがあります。そのねらいにせまりつつ、地域に学習の場を求めることで、実感として、地域の人々の役に立っているという有用感や、この村に生まれて良かったという所属感が高まることを期待しています。

## 2 地域活動について

### (1) 愛鳥の集い

これは、世界遺産に登録された、富士山の歴史・自然・文化を学ぶ富士山学習の一環として行われている活動です。

昭和42年度に県愛鳥モデル校に指定されて以来、技術・家庭科の授業を通して巣箱づくりに取り組み、学校周辺及び村内諸施設の周辺に巣箱かけを行っています。



平成元年からは、公益財団法人 堀内洪庵会の全面的な支援を受け、自然愛護について学ぶ「愛鳥のつどい」を実施し、山中湖村内にある文学の森公園で巣箱かけと野鳥のえさとなる実のなる木の植樹を行っています。

毎年1年生が参加しているこの行事も、今年で31回を数え、これまでに、巣箱2620個を設置、樹木約1700本を植樹しています。その成果を評価され、本年度は文部科学大臣表彰を受けました。

## (2) 吹奏楽部の地域イベントでの演奏活動



本校の吹奏楽部「BLUE LAKE BEAT (BLB)」は結成から18年。山梨県でも希な中学生ビッグバンドとして、年々その活動の幅を広げ、村内の各種イベントでの演奏はもとより、県内外でも多くの演奏のチャンスをいただき、好評を得ています。本年度は、熊本地震復興支援コンサート（白井みちよ氏の企画）にも参加させていただき、音楽を通じて復興のお手伝いをさせていただき貴重な経験もさせていただきました。

イベントでの演奏依頼は年々増えており、成果の発表の場として大変貴重ですが、学校の教育活動とのバランスには慎重な配慮が必要だと考えています。

近年の地域参加の状況は次のとおりです。

花の都公園 春のイベント  
山中湖報湖祭 前夜祭・式典  
ボランティア祭り

ジャズ イン Y a m a n a k a  
山中湖文学の森フェスタ  
山中湖村文化祭

## (3) 山中湖ロードレース



5月最終日曜日に行われるイベントです。全国から12,000人もランナーが参加する村をあげてのイベントです。

毎年、本校の2年生と職員が、運営の手伝いをしています。

プラカード係や受付補助の他、ゴールしたランナーにスポーツドリンクやTシャツを渡

すなどの役目を果たしています。

ランナーからは中学生の笑顔に癒やされたと、好評を得ています。

生徒達も、村の人たちといっしょに仕事をするすることで、有用感・所属感を得る機会になっています。

#### (4) 湖畔清掃

山中湖村では、例年8月1日に「報湖祭」という花火大会が行われます。

会場は、村内の4地区（山中・長池・旭日丘・平野）で、多くの観客で賑わいます。

本校では、その翌早朝、保護者とともに湖畔清掃を行っています。村内の4地区ごとに分担箇所に分かれ美化活動を行います。

地域への愛着と、地域に役立っているという気持ちを醸成する活動になっています。



#### (5) 地域祭礼への参加



9月に、村内の山中地区で行われる祭礼に女子生徒が踊り行列として参加しています。

事前に青年団から踊りの指導を受け、当日は、村内を2 kmほど踊り行列を行います。沿道からおくられる声援に照れながらも、賞讃は生徒の喜びにつながっています。



地域の様々な年齢の方と直接触れあい、つながりを深める中で、頼もしく成長したことを認められた喜びは大きいものがあります。

#### (6) 村民体育祭への参加

10月には、村民体育祭が実施されます。

本校は、例年、全校表現「山中ソーラン」を披露しています。これは、学園祭で取り組んだものです。

また、午後は地域の子どもとして、育成会の方の指導のもと、年齢別競技に参加します。

#### (7) ボランティア祭り

村の福祉協議会が主催するボランティア祭りに、福祉委員会と吹奏楽部の生徒、及び希望する生徒が参加しています。

地域のお年寄りや乳幼児と触れあうことによって、肌で味わうことができる貴重な機会になっています。

主催者や参加者からいただくねぎらいの言葉は、生徒達のこの上もない喜びになっています。



### (8) 職場体験・保育実習

2年生の職場体験では、村内の様々な事業所に協力をいただいています。

「〇〇さんちの子・孫」として、厳しく温かく職業を体験させていただいています。

毎年、受け入れてくださる事業所もあり大変ありがたく感じています。



3年生は、家庭科の授業の一環として、村内にある2つの保育所で保育実習をさせていただいています。

生徒達は、自分が通っていた保育所に行き、保育士の方から指導を受けながら1日保育を体験をします。

地域に学習の場を求めていくことで、所属感を高めていくことにつながることを期待しています。

### 3 むすびに

子どもは、家庭で生まれ、学校で育ち、地域で生きると言われています。

いわゆる「田舎」の顔の見える関係の中で、生徒が地域の人たちかに育まれていることを感じる事ができる経験は大変貴重です。

地域との連携は、山梨の教育活動の重要な柱として位置付けられています。地域の教育力を学校に取り入れることと、学校から地域に学習や活動の場を求めていく双方向の取り組みが重要だといわれています。

その視点から見ても、本校は大変恵まれた環境にあるといえます。

子どもたちの生き生きとした姿が地域に活力を与え、生徒が地域から見守られながら学ぶことができる幸せを感じられるような機会を大切にしていきたいと思えます。